

【美咲町】
校務 DX 計画

美咲町では次世代の校務 DX 実現のため、次のように対策を実施していく。

① 汎用クラウドツールの積極的な活用（随時実施）

授業用端末、校務用端末及び google workspace を活用し、校内の会議のペーパーレス化や学校間をまたぐ会議のオンライン開催を積極的に行う。また、押印の見直しにより紙媒体でのやり取りを極力排すとともに、FAX から電子メールやクラウドストレージ利用へ積極的に移行し、クラウド環境を利用したやり取りを推進する。

② 校務系・学習系ネットワークの統合（令和 7 年度実施予定）

校務系・学習系ネットワークを統合することで、端末 1 台で業務遂行ができる環境を実現する。ネットワーク分離により生じていた、データ移行の負担をネットワーク統合により解消する。セキュリティ確保はゼロトラストの考え方に基づきアクセス制御による対策を実施する。

③ 校務支援システムのクラウド化（令和 7 年度より検討開始）

現在はオンプレミス型環境で運用しており、校務系ネットワークに接続できる端末からしか利用できない。これにより日々の健康観察などのため、各教室で校務支援システムを利用することができない。この課題の解消にはクラウド化が有効ではあるが、上述のネットワークの統合により校内での校務支援システム利用の問題は解消される。このことからネットワークの統合の結果を各校と共有し、クラウド化を含めた過不足のない体制を検討実施していく。

④ 名簿情報等の不必要な手入力作業の一掃

校務支援システム等の名簿情報の入力については、令和 4 年度より教育委員会で一括登録を行うことにより、合理的に取り組むことができている。

⑤ データ連携基盤の創出（令和 6 年度より検討開始）

現在利用している校務支援システムのダッシュボード機能を精査し、各校に向け利用促進のための研修を行う。また、各校からの改善案も随時吸い上げ、保守会社と協議の上、システム改修を行う。

⑥ セキュリティの確保（令和 6 年度より順次実施）

ネットワークの統合を安全に行うために、次の技術要素を導入する。

（ア）多要素認証：記憶と生体（顔）による二要素認証によりなりすましを防止する。

（イ）シングルサインオン：google workspace を基軸としたパスワード管理の厳格化を行う。

（ウ）Web フィルタリング：学習用に導入した i-filter を校務系に拡大し WEB ページからの脅威を防止する。

(エ) データ暗号化：データを端末やサーバに保存する際に自動的に暗号化し、アクセス権限がない者の閲覧・編集を制限する。